

1996年4月1日～2017年12月31日の間に 当科において甲状腺手術の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「残存葉を有する甲状腺腫瘍術後患者の抗サイログロブリン抗体の変化についての検討」へのご協力の
お願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	特任教授	田中克浩
研究分担者	乳腺甲状腺外科学	准教授	山本 裕
	乳腺甲状腺外科学	講師	野村長久
	乳腺甲状腺外科学	講師	小池良和
	乳腺甲状腺外科学	講師	齋藤 互
	乳腺甲状腺外科学	臨床助教	岸野瑛美
	乳腺甲状腺外科学	臨床助教	三上剛司

1. 研究の概要

甲状腺腫瘍に対して手術を施行し、残存甲状腺のある患者で抗サイログロブリン(Tg)抗体の推移についてカルテベースで検討します。また採血データと手術時の病理検査所見との関係についてもカルテベースで検討します。そこで、術後に残存葉がある甲状腺腫瘍患者での抗サイログロブリン抗体の変化を知ること、変化に及ぼす因子を決定することが目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1996/4/1 から 2017/12/31 までに川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科において手術を施行し残存葉のある甲状腺疾患の方を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年8月13日～2023年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において手術を施行した甲状腺疾患の患者さんのうち残存甲状腺のある方についてカルテベースで検討します。サイログロブリン抗体の保持率、術後の変化、病理検査との因果関係について解析します。

4) 使用する情報の種類

臨床データは採血でのTSH, FT4, サイログロブリン、抗サイログロブリン抗体と手術時の病理検査所見。

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学乳腺甲状腺外科学教室内でパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年5月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科

氏名：田中克浩

電話：086-462-1111（内線26201、平日13:00-17:00）

ファックス：086-462-1199

E-mail：tanakaka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究に関して利益相反はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。